

平成31年度 「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」 (燃料電池自動車の普及促進に向けた 水素ステーション整備事業費補助金) 公募説明会

平成31年4月4日、5日
一般社団法人 次世代自動車振興センター

【説明会資料】

- ・交付規程
- ・業務実施細則
- ・補助金交付申請書・実績報告書 作成要領
- ・交付申請書 記入例

燃料電池自動車の普及促進に向けた水素ステーション 整備事業費補助金 平成31年度予算案額 100.0億円 (56.0億円)

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
水素・燃料電池戦略室
03-3501-7807

事業の内容

事業目的・概要

- 水素を燃料とする次世代自動車である燃料電池自動車（FCV）は、国内外の自動車メーカーによって、開発競争が進められ、日本では、平成26年12月に世界に先駆けて量産車の販売が開始されました。
- 本事業では、世界に先駆けたFCVの自立的な普及を目指すため、水素ステーションの整備費用の一部を補助※1することで、水素ステーションの整備を加速させます。まずは、①短期的に比較的大きな水素需要が見込まれる四大都市圏を中心とした地域（特に四大都市圏内の空白地帯や、四大都市圏を結ぶ幹線沿い等）、続いて②政令指定都市や政令指定都市間等を繋ぐ地域、そして③それ以外の未整備地域についても、地方自治体との連携を進めつつ、水素ステーションの戦略的な整備を図ります。
- また、FCVの普及拡大や新規事業者の水素供給ビジネスへの参入促進を図るため、水素ステーションを活用した普及啓発活動やFCVユーザーの情報の収集・共有等、FCVの需要を喚起するための活動に必要な費用の一部を補助※2します。

※1 パッケージ及び移動式は2/3以内 その他のタイプは1/2以内（上限有り）
※2 2/3以内（上限有り）

成果目標

- 本事業を通じて、四大都市圏等を中心とした地域において平成32年度までに累計160箇所の水素ステーションの確保を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

空白地帯に整備

- 燃料電池自動車の潜在的な需要が高いにもかかわらず、まだ水素ステーションの整備が進んでいない空白地帯への集中整備

四大都市圏等を接続

- 四大都市圏等を結ぶ幹線沿いを中心に水素ステーションを整備



〔水素ステーションの整備状況（整備中含む）計113箇所〕

・首都圏 : 44箇所 ・中京圏 : 30箇所
・関西圏 : 14箇所 ・北部九州圏 : 11箇所
・幹線沿等 : 14箇所 ※平成30年11月末時点



SS併設型
水素ステーション



コンビニ併設型
水素ステーション



FCバス対応
水素ステーション